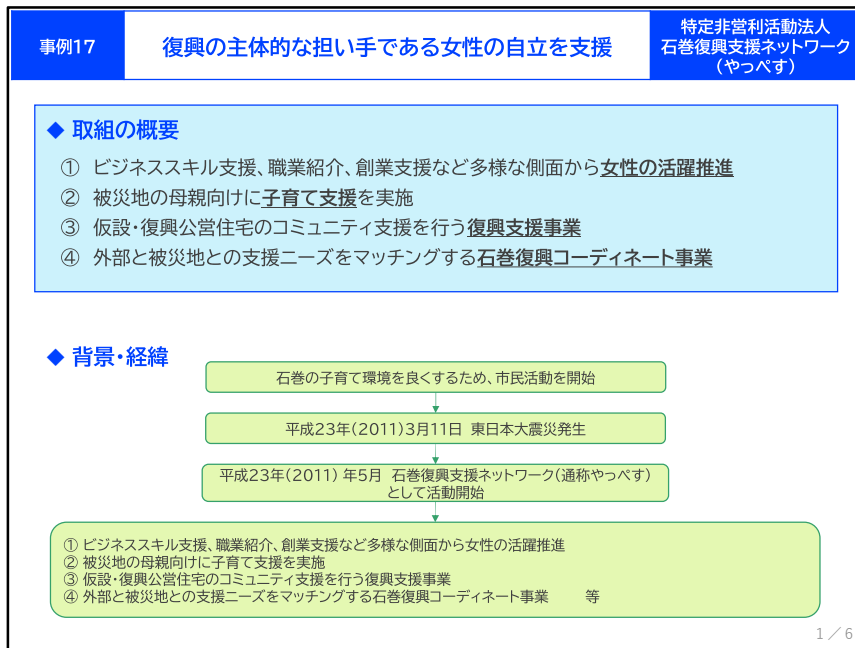




NPOが主体となり、復興の主体的な担い手である女性の自立支援と活躍推進を展開している事例です。
 特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク(通称やっぺす)は、東日本大震災の前から地域の子育て環境をよくするための市民活動を行っていましたが、震災を契機に活動内容を拡充し、様々な取組を行いました。
 まず、取組の概要を説明します。

- 【ポイント】
- ① ビジネススキル支援、職業紹介、創業支援など多様な側面から女性の活躍推進を実施。
 - ② 被災地の母親向けに子育て支援を実施。
 - ③ 仮設・復興公営住宅のコミュニティ支援を行う復興支援事業を実施。
 - ④ 外部の支援と被災地のニーズをマッチングする石巻復興コーディネート事業を実施。

次に、取組に至った背景・経緯について説明します。

【背景・経緯】

[発災前の活動]

平成12年(2000)年7月、石巻の子育て環境を良くすることを目的に「環境と子どもを考える会」(代表:兼子佳恵氏)を立ちあげ、子育て支援の活動を開始しました。

[つなプロの活動支援]

平成23年(2011)3月11日の東日本大震災では、石巻市は特に被害が大きく、多くの人的被害が発生しました。「環境と子どもを考える会」も、代表をはじめとするスタッフの多くが被災し、その中には住宅や友人、家族を失った人もいました。

発災から間もない3月17日には、「被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト(つなプロ)」(※NPO法人「せんだい・みやぎNPOセンター」が中心となり、全国のNPOが連携し、東日本大震災の被災者を支援することを目的に発足)の支援活動をサポートするため、現地のキーパーソンの紹介や、ボランティアが避難所を訪問する際の車の運転などを手伝いました。

つなプロの支援を受けた子どもたちはボランティアへの感謝の気持ちと、復興のために自分たちも頑張る気持ちを伝えるため、we make ishinomaki (WMI)を結成し1万本のミサンガを支援に来た人たちに渡すプロジェクトを実施しました。

[石巻復興支援ネットワーク(通称やっぺす)の立ち上げと活動]

平成23年(2011)5月、復興支援を外から来る人たちに頼るのではなく、地元の人たちが中心になって進めることができるよう、つなプロの協力を得て、石巻復興支援ネットワークを立ち上げました。

主な取組として、①ビジネススキル支援、職業紹介、創業支援など多様な側面から女性の活躍推進、②被災地の母親向けに子育て支援、③仮設・復興公営住宅のコミュニティ支援を行う復興支援事業、④外部の支援と被災地ニーズをマッチングする石巻復興コーディネート事業等、数多くの支援活動を実施しています。

事例17	復興の主体的な担い手である女性の自立を支援	特定非営利活動法人 石巻復興支援ネットワーク (やっぺす)
◆ 取組内容		
① ビジネススキル支援、職業紹介、創業支援など多様な側面から女性の活躍推進		
 地域の一步を応援する スクール事業「Gift(ギフト)」 ワークショップや講座等を通し「自分らしい生き方」や「自分らしい働き方」を考え・学び・活かしていくスクール	 ストレスを抱える女性の自己回復力向上のための人材育成事業 ストレス対処の手法を提供できる指導者育成のための研修	 外で働けないママたちのために「おうちしごと」 小さな子どもがいる母親が おうちで働けるための機会を、企業と連携し提供
	 子育て女性就労支援拠点 育成事業 子育て女性の就労支援、 セミナーの開催や個別相談等ネットワーク構築事業の実施	

石巻復興支援ネットワーク(通称やっぺす)の取組について説明します。

①ビジネススキル支援、職業紹介、創業支援など多様な側面から女性の活躍推進

ビジネススキル支援、職業紹介、創業支援など多様な側面から女性の活躍を推進するために、数多くのプロジェクトを実施しています。

【ポイント】

- 出産から子育てで離職した女性などを対象に、有給職業体験を通して、「自分らしい生き方」や「自分らしい働き方」を考え・学び・活かしていくスクール「Gift(ギフト)」を開催。
- 資格取得の機会を創出し、地域力向上を目指し、ストレス対処の手法を提供できる人材を育成するための講座を実施。
- 外で働けない母親たちのための「おうちしごと」は、復興を支援したい東京や大阪などの企業と共同で、手仕事を中心とした内職を提供している。
- 母親が子育てをしながら働いたり、子育てのしやすい地域の実現を目指して「子育て女性就労支援拠点育成事業」を実施。

【取組】

[地域女性の一步を応援するスクール事業「Gift(ギフト)」]

- 講義をととして、受講生同士や講師、地域の方々との交流をきっかけに、お互いの違いを認め合い、学ぶ社会の実現をめざしています。

[おうちしごと]

- 小さな子どもがいる母親は自分のペースで働ける場所がなく、外にもなかなか出られないのが現状です。彼女たちが閉じこもっていく状況を改善し社会と関わるきっかけや、生活再建のための収入を得る機会をつくるために、「おうちしごと」を提供しています。

[子育て女性就労支援拠点育成事業]

- すべての女性の“はたらく”を実現するために、①自立を促進し、労働意欲を高める、②自分に合う仕事について考える、③実際に仕事を探す、④仕事を長く続けるの4つの段階で包括的な支援を行いました。
- 子育て中の女性が働く上でもっとも大きな障害のひとつとなっている、就労中・就職活動中の保育・託児場所の不足については、地域のファミリーサポート事業等と連携し、子どもの一時預かりの場所の提供や託児・保育ボランティアの仕組みの充実を図り、女性の就職および地域社会での活躍を促進しています。

事例17	復興の主体的な担い手である女性の自立を支援	特定非営利活動法人 石巻復興支援ネットワーク (やっぺす)
◆ 取組内容 ② 被災地の母親向けに子育て支援を実施 【プロジェクトの目的】 ● 小さい子どもを持つ母親が楽しく子育てできるようなサポート ● 子育てのしやすいまちの実現に向けた環境づくり  「やっぺす！ママこども食堂」 親子の居場所づくりとして、遊び場と相談の場を提供  「子育て世代包括支援センター」 子どもや保護者等に相談支援や情報提供、講座を実施  「物資提供」 子育て世帯の頑張っている女性や困窮家庭への物資提供 3 / 6		

②被災地の母親向けに子育て支援を実施

小さい子どもを持つ母親が楽しく子育てできるようなサポートと子育てしやすい地域の実現に向けた環境づくりを行っています。

【ポイント】

- [やっぺす！ママこども食堂] 親子の居場所づくりとして、遊び場と相談の場を提供。
- [子育て世代包括支援センター] 石巻市内の子どもと保護者、妊娠中の母親の相談支援や情報提供、講座等を実施。
- 子育て世帯の頑張っている女性や困窮家庭に食料などの物資を提供。

【取組】

- 子育て世代包括支援センターには、子どもが遊べる遊具やおもちゃもたくさんあり、子どもを遊ばせながら相談できる場所を目指しています。
- 講座の具体的な内容としては、ベビーマッサージや沐浴講座等の体験型講座等に加え、双子を持つ親向け講座や祖父母向け子育て講座等、様々な子育て講座の開催しています。赤ちゃんが生まれたばかりの母親や外国籍の母親は相談したくてもなかなか相談にいけないため、助産師によるオンライン相談も受け付けています。

◆ 取組内容

③ 仮設・復興公営住宅のコミュニティ支援を行う復興支援事業

孤独死やアルコール依存症、幼児虐待等を防止するため、仮設住宅や復興公営住宅を中心とする地域全体のコミュニティづくり

「やっべす隊がやってくる！」

コミュニティ形成と住民の生きがい創出のために月6～7回のサロン活動やイベント(フラワーアレンジメント講座や高齢男性向けの料理教室等)を開催。

また、住民が講師となれるよう、資格取得の機会を創出することで主体的に地域に係わる人材の育成も行う。



高齢男性向けの料理教室



フラワーアレンジメント講座

④ 外部の支援と被災地のニーズをマッチングする石巻復興コーディネート事業

被災地での支援活動や社員研修、視察を希望する企業やNPO等と現地のニーズをマッチング及びコーディネート

震災からの経過とともに被災地の課題が多様化し見えにくくなっていくなかで、支援を必要とする人のニーズを、県内外や海外の企業・団体とつなぎ、支援を行うとともに、参加者の防災・減災意識を高めるためのコーディネートを実施。



コーディネート(国連ユニタール視察)



視察研修受け入れ

4 / 6

③ 仮設・復興公営住宅のコミュニティ支援を行う復興支援事業

孤独死やアルコール依存症、幼児虐待等を防止するため、仮設住宅や復興公営住宅を中心とする地域全体のコミュニティづくりを行っています。

【ポイント】

- 仮設・復興公営住宅コミュニティ支援としてサロン活動を実施。
- 住民が講師となれるよう、資格取得の機会を創出することで主体的に地域に係わる人材の育成も行っている。

【取組】

- 住民の方が自主的にサロン活動やイベントを開催できるように石巻の企業や他の団体と連携して支援したり、復興公営住宅に引越してきた住民が地域に早く馴染めるように、地域住民と復興公営住宅の住民同士の交流の機会となるようなイベントも開催しました。

④ 外部の支援と被災地のニーズをマッチングする石巻復興コーディネート事業

被災地での支援活動や社員研修、視察を希望する企業やNPO等と現地のニーズのマッチングやコーディネートを行っています。

【ポイント】

- 企業・大学・各団体の支援活動や社員研修、視察、スタディツアーのコーディネートを実施。
- 復興まちづくりにおける女性の役割やリーダーシップについて講演を実施。

【取組】

- 被災地のニーズは多岐に渡り、復興公営住宅でのコミュニティ形成支援、人口が減った地域での支援等、まだまだ支援を必要としている方々があります。それらのニーズを、県内外や海外の企業・団体とつなぐことで、復興支援を行うとともに、震災の風化を防ぎ、参加者の防災・減災意識を高める効果も期待しています。
- 「復興の過程」や「防災学習」、「女性の活躍促進」等をテーマに、兼子代表らによる講演活動やワークショップの実施にも力を入れています。

事例17	復興の主体的な担い手である女性の自立を支援	特定非営利活動法人 石巻復興支援ネットワーク (やっぺす)
◆ 現在の活動 ○震災後から継続している就労・起業支援、子育て支援、コミュニティ支援も含め、自ら輝こうとするすべての女性をエンパワーメントするために様々な支援活動を実施		
 ストレスを抱える女性の自己回復力向上のための人材育成事業	 やっぺす！チャレンジショップ	 やっぺす！創業支援
 復興まちづくりにおける男女の意識調査事業	 防災減災グッズ・無事かえるシリーズの販売	【詳しい活動内容】 やっぺすHP： https://www.yappesu.jp/   特定非営利活動法人 石巻復興支援ネットワーク やっぺす!!
5 / 6		

やっぺすの現在の活動です。

団体の立ち上げ以来、現在に至るまでに多岐にわたる活動を行っています。
すでにご紹介した事業も含めて、現在も数多くの事業を実施しています。

【ポイント】

- [ストレスを抱える女性の自己回復力向上のための人材育成事業] ストレス対処の手法を身につけた女性たちが活躍する場や機会を創出。
- [チャレンジショップ] やっぺすオフィス内にて商品を展示したり、販売会やイベントなどを実施できる場を提供。
- [創業支援] 各種専門家による相談窓口の開設、セミナーの運営を実施。
- [復興まちづくりにおける男女の意識調査事業] 子育て世代へのアンケート調査、意見交換の場作り、男性向けセミナーを開催。
- [復興グッズ販売] 防災商品「無事かえるシリーズ」、や制作したCDなどのグッズを販売。

【取組】

- [ストレスを抱える女性の自己回復力向上のための人材育成事業] これまで行ってきた、ストレス対処の手法を身につけるための人材育成スクール。今後は、スクールを修了した女性たちが地域社会の中で活かされるよう、講師となって活躍できる場や機会を創出していきます。
- [チャレンジショップ] 創業する前のテストマーケティングの場に、「創業」とまではいかないけれどこんなことをやってみたい！と考える人が一歩を踏み出す機会として、場を提供しています。
- [創業支援] 持続可能な学びの場を地域内に創出することを目的とし、地域のニーズと目指す未来からセミナーを企画しています。
- [復興まちづくりにおける男女の意識調査事業] 石巻地域を子育て世代が暮らしやすいまちにするための男女別の意識調査事業です。
- [復興グッズ販売] ピクルス(※かえるのぬいぐるみ)生誕20周年にナカジマコーポレーションとの協業によって開発した防災商品「無事かえるシリーズ」、シンガーソングライターの石田裕之さんと共同制作した「やっぺす♡石巻」や、くるりが歌う「石巻復興節」(※石川さゆりさんバージョンもあります)といったグッズを販売しています。

事例17	復興の主体的な担い手である女性の自立を支援	特定非営利活動法人 石巻復興支援ネットワーク (やっぺす)
◆ 取組のポイント ✓ 女性が元来持つ力を発揮できる(エンパワーメント)ようにするための就労・起業支援を行い、女性の力を復興のまちづくりに活かした ✓ 母親が子育てを楽しめる環境づくりに取り組んだ ✓ 外部の支援と被災地のニーズとのマッチングを通じて復興支援を行った		
【メッセージ】 私たちの団体は、これまでの10年間の活動を経て「復興を目指す」から、ここで生まれてよかったと思える「ふるさとづくり」にたどり着きました。 私たち震災を経験した地元住民は、「被災地」で暮らす「被災者」ではなく、「自慢のふるさと」で暮らしながら、さらに住みやすいまちにするため、自らを鼓舞する「一市民」となり活動しています。 「特別な誰かが」ではなく、「普通の誰もが」やってみたいことが受け入れられ、それぞれができることにより、さらに応援しあえる優しいつながりの輪が広げ「自分らしく生きるが叶えられるまち」を目指しています。 私たちの活動が未災の地でこれから起こるかもしれない災害が起きた時に、地元住民として歩みだせるきっかけの一つになり、多くの方々が諦めない力をも「もし自分だったら」と思いを巡らせ、はじめの一步を躊躇せずに歩みだして欲しいと心から願っております。		
団体の概要 問い合わせ先	特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク(やっぺす) 所在地: 〒986-0806 宮城県石巻市開北3丁目1-8 Tel. 0225-23-8588 Fax. 022-774-1469 HP https://www.yappesu.jp/	

「やっぺす」の取組ポイントは、この3点です。

- 女性が元来持つ力を発揮できる(エンパワーメント)ようにするための就労・起業支援を行い、女性の力を復興のまちづくりに活かした
- 母親が子育てを楽しめる環境づくりに取り組んだ
- 外部の支援と被災地のニーズとのマッチングを通じた復興支援を行った

【担当者のメッセージ】

私は、震災前から12年間ほど、地元でボランティア活動を続けてきました。

心が折れる事ばかりでしたが、活動当初の団体は、そうした経験を重ねながら「諦めない力」だけはありませんでした。

都市でも地方都市でもない、地方で地元住民が市民活動を支えるのであれば、できてなくて「あたりまえ」「知らない」から仕方がないからつながって学びあう。

「NPOだからこんなこと知っていてあたりまえ」という前提はないから、年齢なんて関係なくこれから知って、学べばいいし、つながった方々に助けて欲しいと素直に伝えて欲しいと思います。

現に団体が、平成29年度のふるさとづくり大賞で内閣総理大臣賞を頂戴することができたのは、できていないところは、助けて欲しいと伝えることで、根気強く私たちに寄り添い、耳を傾け、そして応援してくださる方々とのつながりのおかげなのです。

私たちの団体は、これまでの10年間の活動を経て「復興を目指す」から、ここで生まれてよかったと思える「ふるさとづくり」にたどり着きました。

私たち震災を経験した地元住民は、「被災地」で暮らす「被災者」ではなく、「自慢のふるさと」で暮らしながら、さらに住みやすいまちにするため、自らを鼓舞する「一市民」となり活動しています。

「特別な誰かが」ではなく、「普通の誰もが」やってみたいことが受け入れられ、それぞれができることにより、さらに応援しあえる優しいつながりの輪が広げ「自分らしく生きるが叶えられるまち」を目指しています。

私たちの活動が未災の地でこれから起こるかもしれない災害が起きた時に、地元住民として歩みだせるきっかけの一つになり、多くの方々が諦めない力をも「もし自分だったら」と思いを巡らせ、はじめの一步を躊躇せずに歩みだして欲しいと心から願っております。